

科目名	9. 介護予防		
担当講師	黛 真人	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	演習 30 時間・1 単位	開講学年	1 学年 前期
評価基準	個人での提出物：30% グループワークでの提出物：10% 実技試験・・・30% 筆記試験・・・30% 出席点：減点方式（欠席数 × -2 点、遅刻・早退数 × -1 点）		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の意義と目的を理解する。 ・高齢者を対象とした介護予防プログラムの実践能力を習得し、援助者としての役割を学ぶ。 ・介護予防の手段としてのレクリエーションプログラムを目的をもって作成する能力を身につける。 		
回	講義内容	方法	
1	オリエンテーション（授業の説明）	講義・演習	
2	レクリエーションの目的	講義・演習	
3	体を使うレクリエーション① 関節と筋肉とは	講義・演習	
4	体を使うレクリエーション② 呼吸器とは 提出物①	講義・演習	
5	頭を使うレクリエーション① 頭を使うとは	講義・演習	
6	頭を使うレクリエーション② 口腔機能とは 提出物②	講義・演習	
7	日本の伝統的な遊び	講義・演習	
8	コミュニケーションロボット「パルロ」を知ろう 提出物③	講義・演習	
9	実技試験に向けて グループでレクリエーションを企画・準備する ① グループでの提出物①	講義・演習	
10	実技試験に向けて グループでレクリエーションを企画・準備する ②	講義・演習	
11	実技試験 提出物④	演習・試験	
12	グループでの提出物②		
13	実習先で行うレクリエーション企画 提出物⑤	講義・演習	
14	実習先で行ったレクリエーションの振り返り 提出物⑥	講義・演習	
15	まとめ・試験	試験	

テキスト・参考書

レクリエーション支援の基礎 公益財団法人日本レクリエーション協会
みんなで考えた高齢者の楽しい介護予防体操&レク 青木智恵子 著
※資料配布